

雌阿寒岳

○11月16日0時53分頃からの火山性微動に重なる傾斜変動

西北西-東南東に走向を持つほぼ鉛直のdikeの開口で、傾斜変動のおおよその方向と振幅分布が説明できる。赤矢印は計算されたdike開口によるdown-dippingの方向と変動量を示す。

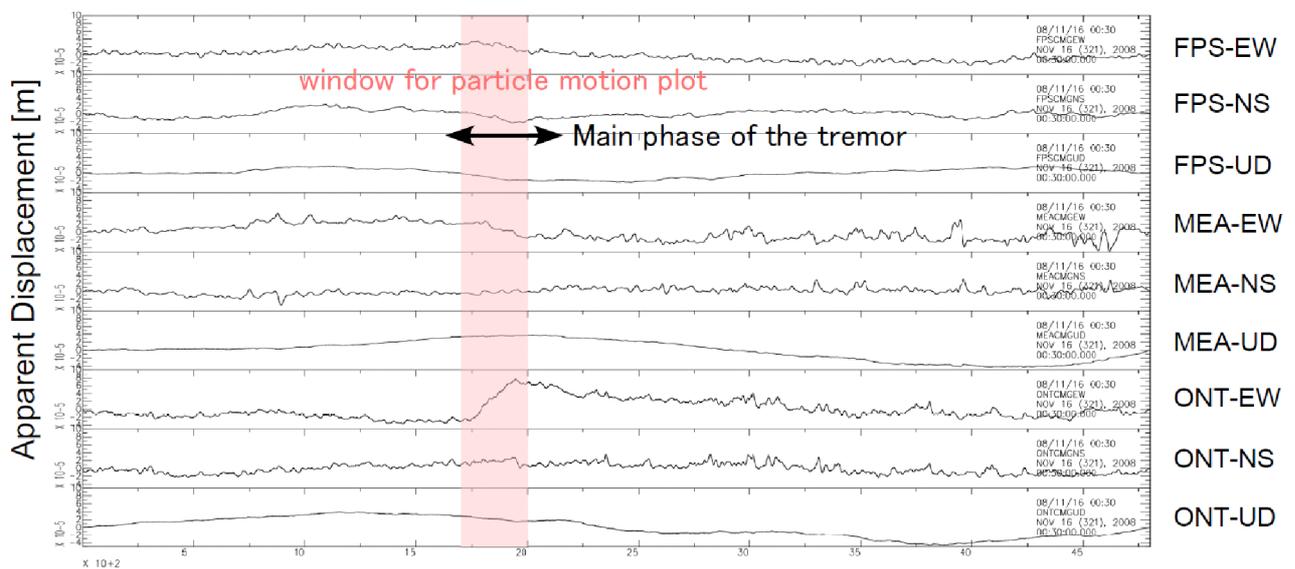
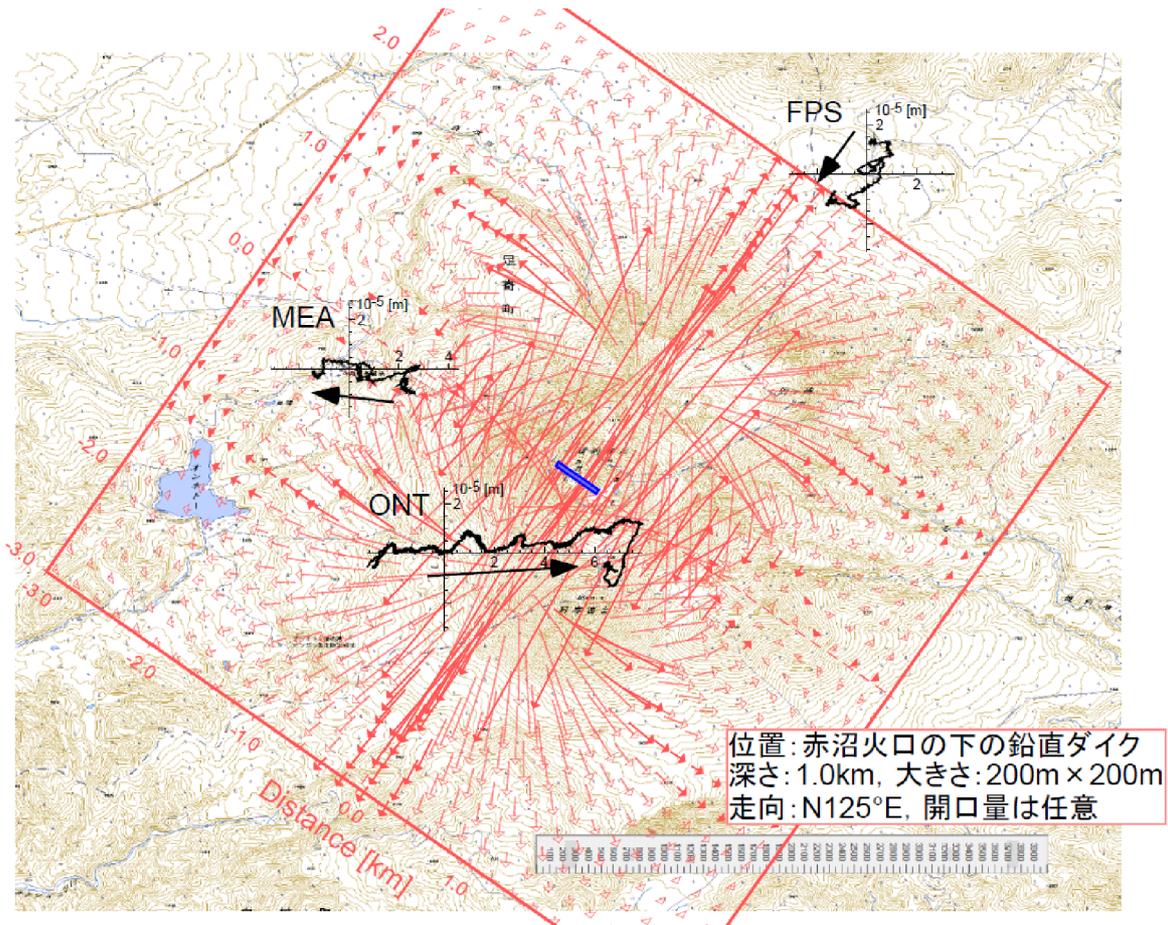


図1. 朱色の時間における地震計変位記録の水平面内軌跡を地図中に描いた。微動の主要部分は黒矢印の通り。地震計で記録された傾斜変動方向は、併設された傾斜計と整合的である(MEA,FPS)。